

今、この人に Interview

クラリネット・サクソ奏者 **ガハプカ アンドレアス**さん



▲「音楽はクラシックからミュージカルまで何でも演奏しますが、特にスウィングジャズが好き」というガハプカさん。

ドイツ語を教え、音楽の演奏活動しながら “主夫”生活。ドイツ流のゆったりした ライフスタイルを実践していきたい。

■日本に来たきっかけは？

私は国立中央ドイツ歌劇場ヴィッテンベルクのソロクラリネット奏者でした。ヴィッテンベルクは旧東ドイツのライプツィヒとベルリンの間にある小都市で、マルチン ルターが宗教改革を行ったことで有名です。妻は日本人ですが、声楽の勉強のためにドイツに留学し、私が働いていた歌劇場でオペラ歌手として活動していたため、そこで出会いました。

しかしドイツは東西統一の影響で失業率が高くなり、税収が減って国の予算がカットされたため、私たちが勤めていた歌劇場も2002年に閉鎖されました。そこで活動の拠点を日本に移すことに決め、2005年来日しました。

■来日してすぐ、滋賀県に来られたのですか？

妻は大学の教員として働き始めたので、最初は京都の宇治に住んでいました。私はドイツでは湖のそばの家に住んでいたの、水が大好きなんです。それで水辺のまちに住みたいと思い、大津の琵琶湖岸に家を見つけて2006年に引っ越してきました。今住んでいる所は湖岸から歩いて5分で、自宅から琵琶湖が見えるのでとても気に入っています。

■日本でも音楽のお仕事を中心にしておられるのですか？

最初はカルチャーセンターでクラリネットを教えていました。その他、日本在住のドイツ人のすすめで映画やテレビ番組に出演したこともあります。映画「バルトの楽園」ではエキストラで、音楽団の中のクラリネット奏者の役を、またNHKの「歴史秘話ヒストリア」でユーハイムの役をやりました。自分の国ではできない面白い経験でしたね。

でも子どもが生まれてからは、私は子育てが中心です。最初妻のご両親に会ったとき「妻が働いて稼ぐなら私は日本で“主夫”になります」と冗談で言ったのですが、半分くらいは本当に

なりました。今は音楽の仕事としては、堅田にあるフレンチレストランで定期的にクラリネット演奏をしています。また、妻と一緒に演奏会に出演することもあります。

■ドイツ語やドイツの文化に関する活動もされているのですか。

大津市国際親善協会のドイツ語講座の講師と、自宅でのドイツ語の個人レッスンをしています。また近年は他の国際交流協会が開催する異文化紹介イベント等でドイツの文化について話したり、ミニ演奏会をしたりもしています。

■ドイツ人は几帳面なところが日本人と似ていると言われていますが、ドイツ人の立場から見てどうですか？

私から見ても、日本人とドイツ人は性格的に似ていると思います。もし財布を落としても、戻ってくるのは日本とドイツぐらいだと言われていますからね。だから「日本はどうですか？」とよく質問されますが、私は暮らしやすいですね。

私の両親は現在のチェコ出身ですが、第二次世界大戦まではドイツ領でした。敗戦で住んでいた場所から追放され、ドイツに行きゼロからがんばってきたんです。日本も第二次世界大戦のあと、貧しい中で復興に向けて努力してきましたね。そんなところも似ていると思います。

■日本とドイツとの違いに驚いたことはありますか。

日本は、働き過ぎで休みがないことですね。大阪の企業でドイツ語レッスンをしていたとき担当していた会社員は30歳代で子どもが3人いましたが、毎日残業で「いつ子どもに会うんだろう？」と思いました。ドイツでは私の勤務時間は朝6時台から午後4時頃まででしたので、仕事が終わってから家族と過ごす時間がありました。また年に6週間の有給休暇があり、私は夏に5週間の長期休暇を取っています。

●プロフィール●

1968年生まれ、ドイツ出身。ドイツ国立ライプツィヒ音楽大学を卒業し、2002年まで中央ドイツ歌劇場ヴィッテンベルクソロクラリネット奏者を務めた。またニュルンベルク歌劇場やマーグデブルク歌劇場などでも客員奏者を務め、ルードヴィッヒIIミュージカル歌劇場ではサクソ奏者も務めた。2005年3月に来日し、クラリネット、サクソ奏者として活動している。アンサンブルグループ「ムジカ・ダ・カマラ」主宰。

た。そのうち2週間はリゾート地で演奏をして、そのお金でメキシコ旅行に出かけたこともあり。日本でも若い人たちは長時間労働をいいこととは思っていないでしょう。そこはこれから変えていけばいいと思います。

■日本のライフスタイルを変えていくためのアドバイスをお願いします。

長い時間働くと、いい仕事ができなくなります。疲れて新しいアイデアが出なくなるからです。でも1週間休みを取って違う経験をする、頭の中がフリーになって、考え方がフレッシュになります。日本の食事はヘルシーだと思いますが、働き方を変えることで、もっと健康的な人生が送れると思います。ぜひ少しずつ考え方を变えていってください。



▲ガハプカさんが出演した作品。「バルトの楽園」は第一次世界大戦で日本軍の捕虜になったドイツ人が徳島の俘虜収容所でオーケストラを結成し、日本で始めてベートーヴェンの「第九」を演奏した実話をもとにした映画。NHK「歴史秘話ヒストリア」のユーハイム役は、本人が一番顔が似ているということで頼まれたという。